

5) タイプの決定

支圧板及び梁形状を決定する。

地盤の許容支持力より、表 - 2 と照合して独立タイプかのかり枠タイプかを選定する。

図 - 3 又は図 - 4 に設計張力と地盤の許容支持力をプロットし、その交点を求める。

交点の直近の上側直線が梁幅を決定し、支圧板の大きさは斜線内にあれば、それが支圧板の決定値である。

例)

